

～ プールス導入事例～

高齢者施設・医療機関に最適 人と環境にやさしい除菌おしぼり

手洗いやうがいなど、日常習慣のなかでの感染予防対策は、やはり手軽で安全なものが求められている。「プールス」は、おしぼり・除菌剤共に天然素材を使用。安全、安心、低コストで高い除菌効果が得られるアイテムとして、現在全国で約200の高齢者施設や医療機関などに導入されている。ここでは、高齢者施設の衛生管理対策に有効な「プールス」の利便性と効果について、同製品を導入している2施設をレポートした。

導入事例 1

衛生管理対策からリハビリまで 創意工夫で無駄なく活用 女性職員に嬉しい 簡単操作と親切設計

A施設は、2007年12月に「プールス」を導入。主に食事前やおやつの時間に“お手ふき”として活用されている。

同施設の利用者は、デイサービス、ショートステイ合わせて1日約35人、おしぼりの使用量は1日100本程度。同製品を導入す

る前は布おしぼりを使用しており、毎日3～4回のおしぼり作りから洗濯まで、すべて職員が手作業で行っていたという。同施設の施設長は「巻かれた状態の清潔なおしぼりが必要な数だけ出てくるのが嬉しいですね。また、長さの設定や、季節や気温に応じて温めることもできるので便利です。お陰で職員の作業の負担は大幅に軽減され、その分、利用者様と触れ合う時間が持てるようになったと思います。当初、ご年配の方の反応が心配でしたが、厚手で感触も布おしぼりに近いので、自然に受け入れていただけました」と話す。

同製品はボタン1つで操作でき、専用ロール紙や除菌液の交換なども簡単。さらに天板の裏面には、不具合が生じた際の対処法が記載されているので、取扱説明書で確認する手間も省ける。女性職員の多い施設にとっては嬉しい親切設計だ。

衛生管理対策として「プールス」を導入した同施設だが、職員たちのアイデアと工夫によって、利用者の自立支援にも役立てている。

導入事例

高い処理能力で業務の効率化と コスト削減を実現

徹底した衛生管理対策で 利用者の健康維持に貢献

病院と併設している B 施設は、入所者およびショートステイ、デイケアを合わせて利用者は常時約 120 人。日常生活からリハビリテーションまで、70 人の職員らが利用者の状態に応じたきめ細かなケアを提供している。

利用者、職員共に多人数の同施設では、ウィルス感染予防などの衛生管理に対する意識が高く、事務長が「当施設では、インフルエンザやノロウィルスの感染予防対策として、利用者様と職員に向けて手洗い、うがい、インフルエンザワクチン接種を励行するなど、皆様に協力していただきながら清潔で安心できる環境づくりをめざしています」と話すとおり、徹底した取り組みで安全確保に努めている。

同施設では衛生管理対策の 1 つとして、「プールス」を導入、利用者の食事やおやつ前に、除菌されたおしぼりで手指を清潔にするよう配慮している。以前は布おしぼりで対応していたが、利用者の多い同施設にとって一度に多くの清潔なおしぼりを製造できる同製品は、衛生管理対策としてはもちろん、コスト削減や業務の効率化にもつながったという。